

グリーンフロント

No.223

みどりのネットワーク通信

令和7年6・7月号

12期生

福岡市緑のコーディネーター 養成講座

2025.6月

start

始動！



福岡市緑のコーディネーター12期生の養成講座が始まりました。定員を上回る72名が受講中です。

全10回の連続講座では緑化リーダーになるためのスキルについて座学と実習を通じて学びます。

平成17年度から始まった福岡市緑のコーディネーター制度は、福岡市長が認定しており、現在372名が登録されています。

福岡市緑のコーディネーターは、花と緑によるまちづくりを進めるため、アドバイザーやサポーター、講師として活躍中です。

一人一花ハッスル事業

6団体が決定！

令和7年度

緑のコーディネーターが取り組む地域や区役所での花・みどりづくり、公民館での講座などにより、一人一花運動が広がっています。この運動をさらに広げるため、緑のまちづくり協会では、福岡市緑のコーディネーターが自ら企画実施する事業を対象に助成を行います。今年度は、下記の6団体が決定しました。

1 名島小学校トントン山周辺の環境整備と美化

団体名／名島四つ葉のクローバー
代表 長村利彦

場所／名島小学校トントン山
内容／名島小学校トントン山で土がむき出しになっている場所にグランドカバー植物を植え生徒達がより安全に遊べるようにします。また、校舎周辺の花壇に花苗を植えて学校の美化を進めます。花や緑を通した生徒達の情操教育の一助になればと考えています。

2 一人一葉やさいをそだてよう！

団体名／ぐりーんぱんだ
代表 坂本憲治

場所／七隈緑地 他
内容／誰でも簡単に作れる野菜づくりを通して、植物の育て方や病虫害、連作障害などについて学びます。野菜の実や種、花の特徴、食べ方を知ること、野菜をつくる苦労やおいしさを市民に伝えていきたいと思っています。

3 回遊型園場に紫陽花・クリスマスローズ・百合の宿根草の園場づくり

団体名／舞鶴公園フラワーボランティア
代表 前田郁子

場所／三の丸スクエア
内容／『魅せる回遊型園場』として、アジサイ、クリスマスローズ、オリエンタルリリーをメインに、一年を通して楽しめる花壇を皆で学びながら作りたいと考えています。

4 五感を楽しみましょう

第二弾 一人一花のバトンをつなごう
団体名／花笑くらぶ
代表 米倉治美

場所／西鉄大橋駅他
内容／大橋駅乗降ホームに季節の花を咲かせる活動は開始から9カ月が経ち、電車が来るまでの時間に、花を愛でる人が、ひとり、ふたりと増えたように感じています。第二弾では花と人の緑を広げながら、一人一花のバトンをつなぐお手伝いができたらと思っています。

5 花と緑を愛するわれらの福岡フラワーショー

～こんなの見たいな♪やりたいな♪を考えよう！～
団体名／KKFFS協議会
代表 大森愛

場所／福岡市植物園
内容／福岡フラワーショーイベントが終わって、いよいよ福岡フラワーショーの開催まで1年をきりました。植物好きな市民の立場から「フラワーショー」について、みんなで考える機会を持ちます。

6 野の草花をたのしむ

団体名／グリーンリンク
代表 森圭美

場所／公民館他
内容／野草、薬草、道端の草花などから取り上げ、発見して感じ散歩や植物を育てることが楽しくなったり、食してみたり（その際の注意も含め）生活に活用したり。日常の小さな自然に興味をもたせる講座の実施に取り組みます。

大山ダム水源地域上下流交流事業

シイタケの駒打ち

in 森づくり公園

福岡市水源林ボランティアの会
西田 正光

総勢140名！



この日最低気温はマイナス5度で、小雪が舞う中、糟屋郡志免町の町民、日田市の市民、地元の森林組合、福岡市水源林ボランティアの会、関係機関の職員など計140名が参加しました。

今迄この公園に累計1,800本程の桜の木を植樹してきましたが、3年前からシイタケの駒打ち体験に変わりました。この地は、森博士がシイタケの菌糸を培養し、種駒を使った栽培方法の着想を得た場所であり、また以前からクヌギの植栽が行われていました。

A.B.C.D 班に別れ公園回りの植物観察の森に移動し、準備されている1mのクヌギの木に既に20cm間隔に穴あけしている所に、種駒を差し込み、トンカチでトントントンと打ち込む作業です。私は子供達に教えていましたが、子供達も直ぐに要領をつかみ「自分一人です」と怒られました。打ち込んだ原木を運搬機まで運ぶ作業も子供2人で頑張ります。



仮伏せ場ではベテランが井桁に積み上げていきます。2夏を経過した秋にはシイタケが顔を出してくれます。用意した種駒がなくなり早めの作業終了です。



ドーム型森づくり交流広場に戻り昼食です。冷え切った体にまず先に暖かい豚汁をすすり次に串刺しのジャンボ焼き鳥をほおばり郷土料理をいただきながらの交流です。今年は40名程の地元中学生達の吹奏楽部の演奏も加わりました。

この素晴らしい「田来原美しい森づくり公園」は大山ダム建設時にでた残土捨て場の跡地を利用した公園です。広さがみずほペイペイドームの1.5倍の広さがあり、健康づくりの森、交流の森、地域振興の森のコンセプトで平成28年に完成した。

緑のコーディネーター活動報告 大的交差点花壇植え替え



motto
くわしくはこちらから



めいのはま宿根草ガーデン 活動を見学しました



motto
くわしくはこちらから



市役所花壇植え替えに参加しました



motto
くわしくはこちらから



紫陽花ワークショップ アジサイ挿し木をこいっしょに！

募集

野河内往還の会(地域の森づくり活動団体)
日時/2025年6月29日(日) 9:00~12:00頃
場所/モミジの丘
(野河内溪谷駐車場から100m先の公衆トイレの裏)
申込先/みどり課

みどりのカフェ ～緑の手仕事部～

緑のコーディネーター
西川京子



※
4月19日(土)、「サンカクフェスタin姪浜」に「NPO 法人和みの家」のみなさんと参加しました。私たちは手仕事作品を出品・出店するお手伝いです。

「多肉植物の寄せ植えを作る!!」からスタート！
「器選び・器リメイクの素材選び・植え付け等」の工程を一緒におこないました。「達成感・笑顔」があふれる製作風景でした。

オリジナルピックも準備して当日、購入者の方に選んでもらい交流を楽しむこともできました。

地域の方の小物類もバリエーション豊かで会場に笑顔があふれるイベントになりました。マルシェに参加することが初めて、しかも、地域・利用者さんのサポーター役をしながら関わる不安な気持ちを持ちつつ準備してくださる人生の先輩方に力をいただきました。後日「多肉植物」元気に育ってますと声を掛けていただき繋がりを実感することもできました。

「緑」「地域」「高齢者」がつながるお手伝いが今後できるように精進したいです。

※認知症にやさしいまち認知症フレンドリーシティの実現に向けて、当事者の方と地域と企業が協力して開催しているイベント

花壇相談会は初回無料です。
(当協会が負担)
ご興味のある団体は、どうぞお気軽にお問い合わせください！

対象/協会認定の活動団体



花壇相談会

南当仁小学校 PTA花の会

緑のまちづくり協会では、花壇の指導を希望される新規認定団体の皆さまに対し花の選定方法や年間計画、育て方などについて指導が受けられる「緑のコーディネーター」の派遣を行っています。

今回は、今年4月に認定された「南当仁小学校PTA花の会」の花壇にて、緑のコーディネーター・吉松晃子さんを講師にお迎えし、土壌改良や花壇デザイン、低予算での維持管理についてのレクチャーを行いました！

道路脇にひときわ目立つ華やかな花壇。おそろいの法被を着た会員の方に紹介していただきました。



フラワースタンプ

七隈公民館
集合

スタート

七隈校区では、毎年春に花づくりをしている8団体の花壇を巡るウォーキングが実施されます。皆さんが手塩にかけた花壇の花々が色とりどりに咲き誇り、迎えてくれました。

七隈 花壇めぐり ウォーキング

主催 七隈公民館

今年も

梅1花クラブ

「冬は日が当たらないから花選びが難しい」と団体さん。するとほかの団体の方が「うちもよ!」と日陰に強い花苗の情報交換が始まりました。



梅香る町梅林推進プロジェクト



ちょうど管理作業をされていました。花も終わり、枝垂れ梅は剪定をしたところとのこと。来年の梅も楽しみだね!と皆様おっしゃっていました。

梅林ガーデニングクラブ



盛んに情報交換が行われていました。「カンナが増えすぎているから、欲しい人いたら今掘り出していいよ」なんてお話まで!

中公園ガーデニングクラブ



「この花の種は私があげたもの」と他団体の方から教えていただき、校区内のつながりを感じました。

うちも真似しようかな



梅林フラワークラブ

「花壇のボリュームがもりもりに見えるのは、こぼれ種のスマイルの影響が大きいかも」と団体さん。

エコ・ガーデンと愉快的仲間たち



最近は宿根草も活用し、予算内で華やかな花壇づくりを目指しているそうです。梅林緑地では、野草の花についても教えて頂きました。

西南杜の花クラブ



開花時期をずらすため、いろいろな種類のチューリップを植えてあるそうです。後日改めて見に行かせていただいた時にはちょうど見頃になっていました!

花苗選びについて情報交換したり、種を交換し合っていたり。町なかを歩いていて子供や地域の方に話しかけられている場面も何回か見受けられ、人とのつながりを感じ、区内で助け合って花壇管理をされていることが伝わってきました。ぜひまた参加したいです、お疲れさまでした!

(緑のまちづくり協会 協元)



梅雨こそ差がつく！

花壇ケアのススメ

蒸れ対策で健康キープ

混み合った枝葉を軽くすくだけで、風通しがぐんと良くなります。特に多年草や花木は、カビの原因となる蒸れに注意しましょう。

咲き終わった花や傷んだ葉はこまめに取り除いて

病気の予防になるだけでなく、見た目もすっきり整います。気づいたときにサッとひと手間、が元気の秘訣です♪

盛土枠や花壇のすき間に注意

まずは、地域の人への気配りを忘れずに。雨で土が流れて歩道がぬかるむと、雑草も生えやすくなり思わぬ苦情のもとに…。活動を気持ちよく続けるためにも、気になるところは早めに補修を。



花壇の管理は、植物のケアだけでなく、周囲への配慮も大切です。地域の一員として、みんなが気持ちよく過ごせる空間づくりを心がけましょう。

ジメジメとしたこの季節、植物にとっても過ごしにくい時期です。でもちょっとしたお世話で、花壇はもっと元気に、美しく保てます。まちを彩る花壇のために、今こそ、ひと工夫してみませんか？

挿し木にぴったりの季節！

湿度が高い梅雨は、植物が根を出しやすい時期。ちょっと増やしてみたい草花があれば、ぜひチャレンジを♪

水やりは“与えすぎ注意”

梅雨時は雨が多く、土が乾きにくい季節。水を与えすぎると根腐れの原因になることも…。少し乾かすくらいの方が、水を探して根をぐんぐん伸ばします。根がしっかり張れば、夏の暑さにも負けな丈夫な株に育ちますよ！

花壇まわりもキレイに

花壇は美しくても、周囲に抜いた草や土が残っていると、ちょっぴり残念。作業の最後にひと手間かけて、印象アップ！

info

段ボールコンポストを使った生ごみ堆肥の特徴、使い方についての研修

主催／福岡市環境局ごみ減量推進課
講師：NPO法人循環生活研究所

参加
募集

対象 福岡市緑のコーディネーターの皆さん 地域の森・花づくり活動団体の皆さん

花壇活動にも利用できる、生ごみ堆肥づくり研修会が今年も福岡市植物園ボタニカルライフスクエアで開催されます。この機会にぜひご参加ください。

詳しくは同封チラシをご覧ください。

info

緑のカーテンコンテスト

主催／福岡市環境局
脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課
応募期間／8月1日(金)～31日(日)

参加
募集

福岡市では、花や緑を楽しみながら、省エネや熱中症予防などの地球温暖化対策となる緑のカーテンコンテストを実施しています。緑のカーテンに取り組んだ個人や団体が対象で、家庭部門(戸建て、集合住宅)と団体部門(企業、学校など)があり、審査を経て、各部門1組に最優秀賞(五千円ギフトカードなど)が選ばれます！

お問合せ先 福岡市環境局 脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課
電話：092-711-4282 FAX：092-733-5592



福岡市植物園
Fukuoka Botanical Garden

市長会見で発表されました

2026年3月に「エントランスガーデン」が誕生！



エントランスガーデンイメージ図
緑と水盤のバーゴラ「サーキュラーテラス」

福岡市では、2018年1月に一人一花運動をスタートし、市民・企業・行政が一体となって、「花による共創のまちづくり」を目指しています。

植物園は、一人一花運動の拠点施設として「一人一花運動を始めとなるきっかけづくり」や「誰もが訪れたいくなるワクワク感の向上」など機能強化に取り組んでおり、その一環として、昨年度からリニューアル工事に着手しています。

今年度は、バラや草花があふれる1年を通して楽しめるガーデンや誰もが訪れたいくなるようなワクワク感のある花のスポットを整備し、令和8年3月に植物園に新しいエリアとしてエントランスガーデンが誕生します。

エントランスガーデンの概要

【面積】 約3,200㎡

【工期】 令和7年7月～令和8年3月

【植栽】 バラ(約300種 600株)、宿根草等(約100種 10,000株)

【施設】 緑と水盤のバーゴラ、バラのアーチ、デッキテラス、ガゼボなど



令和7年度
リニューアルエリア
(エントランスガーデン)

令和6年度リニューアルエリア
Fukuoka Flower Show
Pre-Event特別エリア



バラのアーチ



バラと宿根草のガーデン

3月22日～26日 Fukuoka Flower Show 2026を 開催します！



Fukuoka Flower Show 2026

【日程】 令和8年3月22日(日曜日)～26日(木曜日)

【場所】 福岡市植物園

【内容】 ガーデンコンテスト、ベランダガーデン、物販・飲食出店など

※イベントの詳細については、決まり次第、順次発表してまいります。

新しくなった植物園で「Fukuoka Flower Show 2026」を開催します。

みどりが丘
落葉リサイクルの会
山田芳治

ハカタユリが開花しました。昨年より、1週間遅れましたが、よく咲いてくれました。



森
hana
花



令和オープンガーデン 2025
Botani's garden

4/26・5/10、緑のコーディネーター 葛原朋子さんのご自宅でオープンガーデンが開催されました。訪れた人々は、美しく咲き誇る花を眺めながら自然と会話が弾み、植物をきっかけに交流が生まれていました。



西新サザエさん通り
バラの小径プロジェクト

5月中旬、活動団体『西新サザエさん通りバラの小径プロジェクト』さんの花壇でバラがちょうど見頃を迎えていました！他の植物との組み合わせも見事で、とても華やかで目を引く花壇です。



花畑3丁目1区町内会スマイルガーデン
野村絵美子

野間大池公園からいただいたワトソニアが咲きました。いくつかはカラスにいたずらされましたが、必死に咲いてくれてうれしいです。

福岡市内の公共用地で、森や花壇の整備・緑化活動に取り組む
市民団体の皆さんへ—

「地域の森・花づくり活動支援事業」
助成対象団体を募集！

あなたの活動を、緑のまちづくり協会が応援します！
本事業では、植物や資材の購入などにかかる費用の一部を助成しています。
これから活動を広げたい団体も、これまでの取り組みをさらに深めたい団体も、ぜひご検討ください。

◆助成対象となる活動



地域の森づくり

- ・樹林地などの保安全管理(300㎡以上)
- ・市街地での植樹活動(150㎡以上)



地域の花づくり

- ・花壇づくりなど(10㎡以上)

◆申請期間

7月1日(月)～7月31日(水) ※消印有効

助成を受けるには、「緑の活動団体」としての認定が必要です。

- ・会員5名以上
 - ・5年以上の継続的な活動計画があること
- など、いくつか条件があります。

詳細は、緑のまちづくり協会 みどり課まで
お気軽にお問い合わせください。

くわしくはこちらから



当協会は花・緑の活動を応援しています。

当協会は事業収益や寄付金等を活用して活動助成や緑化助成を行っています。

アンケートにご協力をお願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにて
お送りください。

- ①住所・氏名・年齢・電話番号
- ②良かったページ
- ③本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を
郵送またはメールにてお送りください。
8・9月号(8月号)への投稿締切は7月25日
です。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
福岡市中央区小笹5丁目1番1号
福岡市植物園 緑の情報館内

✉ ks@midorimachi.jp

☎ 092-260-8816

☎ 090-8463-9982

☎ 092-401-1384



ホームページ

グリーンノートは編集から構成デザインまで、福岡市緑のまちづくり協会職員が制作しています。